

2015年4月2日
日本アルコール産業株式会社

弊社所蔵設備の化学遺産認定について

この度、弊社が所蔵するもろみ塔と蒸留塔棚段が、化学遺産に認定されました。



化学遺産認定証(化学遺産第031号)

化学遺産とは、公益社団法人日本化学会が、世界に誇る我が国化学関連の文化遺産を認定し、それらの情報を社会に向けて発信する『化学遺産認定事業』を2009年度から開始したもので、第6回を迎える2014年度、『日本の工業用アルコール産業の発祥を示す資料』として、弊社の所蔵する設備が認定されました。



出水工場所蔵 もろみ塔

1938年に操業を開始したもろみ塔。空襲によって破壊されたが、再建され1997年まで使用された。詰まりやすい芋発酵液を掃除できるよう、各棚段に蓋がついている珍しい形の蒸留塔。



磐田工場所蔵 蒸留塔棚段

1939年に操業を開始した蒸留塔の棚段とその一部。円柱型バブルキャップは精留塔または脱水塔の一部と推定される。キノコ型のバブルキャップは珍しい形。